建設業の魅力発信と担い手確保に向けた取り組み

富山県　土木部　建設技術企画課／管理課

1.　建設業の魅力発信ウェブサイト「富山を TSUKURU」

社会資本の整備，維持更新の「担い手」であり，災害時の対応や除雪といった地域の「守り手」となる県内建設企業が，将来にわたり地域で活躍していくためには，人材確保・定着のための取り組みが重要です。富山県では，より一層の魅力発信・PR を目的としてウェブサイト「富山を TSUKURU」を令和 6 年 3 月に開設しました（図－1）。

このウェブサイトでは，学生レポーターが現場で生の声やリアルな仕事風景を取材して，建設業界の仕事内容や魅力，やりがいなどを紹介しています。

また，土木を学ぶことができる県内学校の紹介や建設業の就職関連情報も掲載しており，土木について深く知りたい，働いてみたいと考えている方には必見の内容となっています。

さらには，県土木部が毎年発行している事業紹介パンフレット「とやまの土木」や，富山県総合土木職のキャリアイメージを持ってもらうために作成した PR 動画も掲載しています。

建設業の魅力発信・PR のため，今後もさらなるコンテンツの充実と改良を続けていきたいと考えています。



図－1　ウェブサイト「富山を TSUKURU」

2.　県庁技術職員の確保に向けた取り組み

本県では，県内大学の学生に土木行政への理解を深めてもらうとともに，土木系技術職員の仕事の魅力を伝えるため，令和 4 年度から，県内大学の工学系学部と連携し

た出前講義や公共土木工事現場の見学会を実施しています。

令和７年度は，富山県立大学の学生を対象に，県の技術職員が講師となり，県の土木事業の歴史を紹介する講義を実施した（写真－1）ほか，県発注の河川改修工事や橋りょう架替工事など，実際に作業が行われている公共工事現場を見学しました（写真－2，3）。

また，富山大学の学生を対象に，県が主体的に取り組む富山駅周辺整備の概要（連続立体交差事業）についての講義を行いました（写真－4）。

参加者からは「地元の社会基盤施設をつくり，残せることが素晴らしいと感じた」，「将来の土木の仕事に対する意識を高めることができた」といった声が寄せられ，社会資本整備の役割について理解を深めてもらうとともに，土木系技術職員の業務のやりがいを感じてもらう良い機会となりました。

近年の技術人材不足により，土木行政に携わる技術職員の確保が課題となっています。そのため，職場を見学する体験セミナーや，若手職員との座談会を盛り込んだオープンセミナーの開催，インターンシップの受け入れなどにも取り組んでおり，今後も県職員ならではの技術職の魅力や働きがいなどを積極的にアピールしていきたいと考えています。

3.　ケンセツジョブフェス 2025

本県では，若い世代に建設業の仕事内容および県内建設企業で働くことの魅力を幅広く発信するため，令和５年度から建設業団体等と連携してイベントを開催しており，昨年９月に「ケンセツジョブフェス 2025」を開催しました（図－2）。

会場では，鉄筋や型枠の組み立てなどの仕事体験や四足歩行ロボットの実演のほか，左官アート



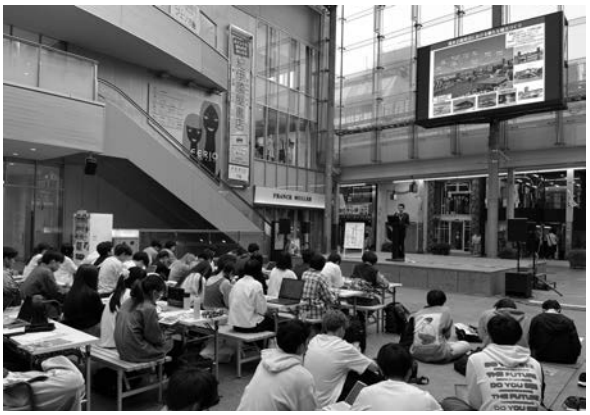
写真－1　富山県立大学での出前講義



写真－3　工事現場見学（水橋大橋架替工事）



写真－2　工事現場見学（坪野川河川改修工事）



写真－4　富山大学での出前講義（まちなか授業）



図－2 「ケンセツジョブフェス 2025」チラシ



写真－5 職人体験



写真－6 四足歩行ロボットの実演

やとび職の皆さんによる「梯子乗り」などの職人の技術を魅せるパフォーマンス，高校生参加の建設業に関するクイズ企画「高校生ケンセツクイズ 2025」，県内高校による書道・ダンス・吹奏楽のパフォーマンスなどが行われ，延べ約6,500 人の方が来場されました（写真－5 ～ 8）。

参加者からは，「子どもが建設業界で働いてくれたら嬉しいと思った」，「建設業はやりがいがありそうだと思った」など，建設業へのポジティブな意見を多くいただきました。

今後も，建設業界の皆さまと協力し，建設業の魅力発信および人材確保に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



写真－7 職人パフォーマンス（梯子乗り）



写真－8 高校生ケンセツクイズ 2025